

# 支部だより 珠のつえ

令和元年 10月17日

第123号



発行所

公益社団法人 全国珠算教育連盟

青森県支部

所在地 三沢市中央町4丁目4-6

☎0176 (53) 3662

支部長 斎藤 隆

責任者 福士隆行

## 令和元年度支部定時総会 むつ市で開催

令和元年度支部定時総会が8月25日(日)、むつ市『下北文化会館』に於いて開催されました。午後1時に開会、議案審議に先立ち、会員表彰が行われました。本部表彰では、事業優績で竹川征子先生(むつ地区)と松田良子先生(八戸地区)、検定優績は斎藤千恵先生(三沢地区)と福士隆行先生(青森地区)、永年在籍は40年が手代森テル子先生(八戸地区)と福士隆行先生(青森地区)、30年で小川祥子先生(八戸地区)が受賞されました。支部表彰では、検定功労賞を須藤孝仁先生(南黒地区)と成田真紀子先生(青森地区)、研修奨励賞を及川義明先生(八戸地区)はじめ16名の方が受賞、特別功労賞を斎藤拓哉先生(平成30年度全日本通信珠算競技大会団体小学校の部優勝・上久保小学校)が受賞されました。



続いて、斎藤隆支部長が挨拶、東北七県大会に触れ「会場と宿泊が別になったこと等、多々困難を伴ったがアクシデントをきちんと処理し無事乗り切ったのは、マニュアルどおりにやってくれた会員の皆さんののおかげです」と、協力に感謝とお礼を述べました。

**議案審議**…第1号議案「平成30年度事業報告ならびに収支決算の承認を求める件」についてでは支部長、各執行部長が事業内容について詳しく説明、監査の所見があり賛成多数で承認されました。

**協議報告事項**…第47回東北七県珠算競技大会(7月30日・青森市リンクステーションホール)の報告が3先生よりありました。



◆**工藤和広先生(むつ地区)**「会場移動が心配だったが、プラカードをもって立つ位置などを工夫した結果、思った以上に上手くいったと思います。また弁当の配布ではアレルギーという問題が気に掛かったが、何とかクリアできました。これからの課題となりますが、机(テーブル)が古くガタガタして計算しづらい状況だったのが気になりました」



◆**澤村千晴先生(十和田地区)**「リンクステーションホールは県大会や全日本通信大会でも司会を担当させて頂いているので場所に慣れていてるせいかな東北七県大会であっても全体を見渡す事が

出来るくらい落ち着いていました。すると、やはり青森県の先生方の機敏な動き、テキパキとした対応が目に入りました。今まで何回もそのような動きは見ているはずでしたが、他県の先生方が入る事により際だっていることに気づきました。このように素晴らしい青森県の先生方に支えて頂きながら私は司会進行の担当を無事に終えました事、感謝申し上げます。ありがとうございました」



◆**須藤麻有先生(南黒地区)**「今回は審査委員を務めさせていただきました。初の東北大会での業務で他県の先生方も一緒でしたのでいつもとは違う緊張感がありました。採点業務が始まってからは怒濤の時間で、読めるような、読めないような微妙な難解数字に先生方と頭を悩ませつつ、ひたすら丸つけ。県大会とは違い参加人数も多く、正直なところ、表彰式に間に合うか不安もありましたが、昼休憩に入り競技委員の方も手伝ってくださり、終わった時はほっとしました。全体では、大きなトラブルもなくスムーズな進行に、他県の先生方からは驚きの声もあったと伺いました。それは青森県の先生方のこれまでの経験、努力の賜だと感じました」

続いて、令和元年度全日本珠算選手権大会(8月8日・京都府)の報告が斎藤拓哉先生よりあり、斎藤俊君の個人総合満点2位をはじめ100位以内に5名が入る好成績を収めたことなどが報告されました。(午後2時35分終了)

## 夜の部…支部総会懇親会・カラオケ大会開催

午後6時より「プラザホテルむつ」に於いてむつ地区担当による懇親会が行われました。今回の余興は大カラオケ大会。各地区からのど自慢の先生方がエントリーしました。むつ地区の先生方が審査員となり良かったと思った方に挙手で投票、決勝まですべての対戦が3対2の激戦となりました。決勝戦は須藤孝仁先生、佐藤淳子先生、三上多恵子先生の戦いとなり、見事チャンピオンに輝いたのは、素晴らしい声量を駆使し熱唱した西北五地区代表の三上多恵子先生でした。



## 令和元年度 珠算指導者講習会

～指導に困ったときのQ&Aパート3～

8月25日(日)、定時総会終了後、珠算指導者講習会が「下北文化会館」で開催されました(受講者57名)。演題はパネル討議「指導に困ったときのQ&Aパート3」。



今回は3級のQ&Aで座長は斎藤拓哉競技部長。パネラーは小川原光治先生(三沢地区)、須藤亨仁先生(南黒地区)、関向知寿先生(十和田地区)が務めました。

まず、整数と小数に関する説明のところでは、位(くらい)について、整数と小数(真小数・帯小数)について、小数の読み方についてどのように説明しているか、小数と整数をそろばんに布数する時やコマと小数点の書き方についてどのように説明しているかなどを各パネラーが述べました。端数処理の指導では、小数第3位未満四捨五入、整数位未満四捨五入の仕方をどのように説明し理解させているかから始まり、小数の計算(かけ算・わり算)に入りました。ここではカメラで映し出された映像が威力を發揮、斎藤拓哉座長が生徒役になり、パネラーの先生方が実際に生徒に教えているつもりで例題をあげ説明。受講者はスクリーンを熱心に見つめメモをとっていました。伝票算の計算の指導では伝票・答案用紙・そろばんの置く位置、めくり方、計算と伝票をめくるタイミング、左利きの生徒への対応などが話し合われました。各パネラーは生徒が理解しやすいように工夫して指導されており大変参考になりました。2級からのQ&Aは、次回開催の予定です。



し合われました。各パネラーは生徒が理解しやすいように工夫して指導されており大変参考になりました。2級からのQ&Aは、次回開催の予定です。

## 支部事務局よりお知らせ

### ◆ 全珠連本部より 慶事お祝い

喜寿 二戸 昭代(青森) 横澤 きくえ(西北五)  
古希 工藤 寿和(むつ) 渋谷 てる子(西北五)  
村山 節子(三沢) 関向 ウメ(十和田)

いつまでもご壮健で、益々ご活躍されますよう、お祈り申し上げます。

### ◆ 392回十段合格者 (令和元年7月21日)

暗算 沢居 悠希(三沢地区) 守谷 美結(三沢地区)

### ◆ ニュータイムズ紙に全日本珠算大会が掲載

↓ 記事が見たい方はここへアクセスして下さい。

<https://www.nytimes.com/2019/08/21/world/asia/japan-abacus.html>

※同一端末からは最大3回までのアクセス可能。

あくまでフリーでの使用。

※記事の商用利用・不特定多数への配布は著作権に抵触ため不可。

## 県対抗、2年連続完全制覇

### 第47回東北七県珠算競技大会

7月30日(火)、青森市のリンクステーションホール青森において第47回東北七県珠算競技大会が開催されました。



前日は午後2時より会場設営開始。2時10分から受付開始、第一印象で大会の評価に影響を与えることがあるかもしれない細心の気配りと配慮が必要です。ここでは、応接委員の気持ちを込めた対応で各県支部長・役員の皆さん、気持ちよく到着できたようです。3時から競技委員会、支部長会、4時からは合同会議と午後5時30分まで続きました。前もって、支部事務局が準備を周到に進めてきましたが、更に万全を期すため、細部まで入念な打ち合わせが行われました。

大会当日は気温30度を超える暑さながら、会場は最適な温度に調整され、いよいよ令和初の東北七県大会の開幕となりました。緊張感ただよう中、午前9時15分、沢藤ノリ子岩手県支部長が開会を宣言、国歌斉唱、各県選手団紹介、優勝旗返還と開会セレモニーが続き、斎藤隆支部長が大会長として挨拶「見て分かりやすい競技大会を目指して映像化に取り組んでいる。フラッシュ暗算はもちろん、表彰式においてもステージのスクリーンを利用し大会運営を進める」と話しました。選手を代表して青森県の宮北伊織くんが元気ある力強い声で宣誓。この経験は彼にとって忘れられない良い思い出となることでしょう。今回は開閉会式、フラッシュ暗算競技が1階大ホール、総合競技会場は4階と5階に分かれたため選手の移動が心配されましたが、事前の周到な打合せ会議により選手の移動はスムーズに行われました。競技は10時20分から開始され、精鋭281名による「東北ナンバーワン」を目指す熱い戦いが展開されました。今回も青森県勢が上位に名を連ねる活躍を見せ、団体総合競技(県対抗)では、前回に続き連続の全部門完全制覇を成し遂げました。

閉会式では、丹野知行本部理事が講評、斎藤隆支部長より次回開催の秋田県支部への大会旗引き継ぎがあり、大場英和秋田県支部長が閉会を宣言しました。担当委員の適切な判断によって大幅に時間が短縮され予定より30分早い午後2時50分に滞りなく終了しました。予定終了時間がこれだけ早くなったことは、いかにスムーズに、滞りなく大会が運営されたかの証明でしょう。

## 工藤壽和先生、理事長に就任!

9月8日、本部役員選挙に於いて、全国区理事に立候補した工藤壽和先生が、12期目となる当選を果たしました。この度、選挙後の新任理事会に於いて理事長に就任することとなりました。益々のご活躍を祈念いたします。